

課題になっている行動 (気になる行動)

「遠慮せずに言って」と
言われたので、
先生の状況も確認しないで
頻繁に話す

え

言ったでしょ

「遠慮せずに
に言って」って



監修・文 水野敦之 絵: 宗貞由貴子

環境・状況の要因	本人の特性	本人の経験や気づきの影響
<input type="checkbox"/> 様々な状況の変化 ■ 影響を与える刺激や情報 本人がイメージできない表現で伝えられている。 ■ 必要な支援がない 字義通りの解釈する特性への配慮がない <input type="checkbox"/> その他 <hr/> ■ 行動前の状況※ 本人がイメージできない表現で指示される。	■ 受容コミュニケーションの特性：字義どおりの解釈 ■ 社会性・対人関係の特性 ：社会的な状況をつかめない ■ 時間の整理統合の困難さ ：状況から「いつ」がイメージできない。 ■ 関係理解 (意味理解) ・般化の困難さ：字義どおりの解釈 ■ 想像思考の困難さ	<input type="checkbox"/> 習慣になっているものがある ■ 自分流の気づき・考え方をもつ ・「遠慮せずに言って」と言われたことをそのまま字義通り理解する。 ・裏の意味は理解していない。 ■ 過去に経験したこと学んだことを ・話に行ったら対応してもらった経験。 ■ 過去に経験したことにより恐怖や嫌悪感をもっていること ・時期が立って、言われた通りしたのに注意を受けた。 <hr/> ■ 行動後の状況・結果※ ・話くるので繰り返し対応される。 ・しばらくして、注意される、

活用できる他の資源	活用できる本人のスキル	活用できる本人の気づき
<ul style="list-style-type: none"> ・相談の時間をとることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な言葉の指示は理解できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・「困った時には、相談する」意味は理解している。 ・先生の指示を聞いている。

支援計画 ※支援の具体的な計画は自立課題シートで整理する方法もあります		
環境を変える部分は？ <ul style="list-style-type: none"> ・先生・支援者間で本人にとってイメージできる表現を共通認識する。 ・相談の時間を設定し、「いつ」「どこで」「どのくらい」を具体的に伝える。 	本人の特性にあわせた支援は？ <ul style="list-style-type: none"> ・本人の字義通りの解釈する特性に配慮した言語指示で伝える。 ・情報は5W1Hで具体的に伝える。 	本人に伝える・教える部分は？ <ul style="list-style-type: none"> ・人が状況によって、相談等に対応できないことがあることを、基本の視点と事例を通して教える。 ・相談の仕方を具体的に教える。

解説と支援の方向性について

字義通りの解釈をする特性があります。相手から言われた言葉をそのままに解釈します。本人にあわせて曖昧にならないような説明が必要です。これに対しては「11時から30分話すことができる」と伝えた方が具体的です。